

三條別院のご案内

真宗大谷派三條別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

三條別院に想う

本欄の執筆者が、院議会の議席番号順であることを知ったのは、うかつにも二十番の方が書かれた後のことでした。私は二十二番です。

祖母に連れられて、初めて別院にお参りさせていただきましたのは、小学生になる前だったと思います。七百回御遠忌ではなく例年の報恩講で、とにかく超満堂でした。

賽銭方の方々が売っておられた本が、微塵のすき間もない参詣者をかき分けかき分け、手元に届けられるまでとても長い時間がかかったのを覚えています。私の初めての仏教書は『おしやかさま』という絵本でした。

三十一歳で寺に帰ってから、頻繁に別院通いが始まりました。子どもたちとの『夏のつどい』は楽しかったですね。人形劇の舞台を持つての巡廻は、恥ずかしさを紛らわすために缶ビールを飲んでかかりました。

「別院に行ってくる」といえば、家族には当然朝帰りと思われ、鍵をかけられた末に梯子で二階の窓から入ったこともあり、「帰る方が悪い」とのことでした。

同じ活動経験のある父からは、一度もいさめ

の言葉は聞いたことはありません。今更ながら有り難かったと思っています。来春、長男が帰ってくるようです。別院でよき先輩や友人と出会えるよう、同じように送り出してやろうと思っています。

また、別院は、他地区の推進員や門徒さんとも出合える場所です。組内の住職、関係する門徒さんだけとおつきあいすればいいとすると、少々肩がこって見識が狭くなります。根底に損得勘定がはたらくからです。お互いが一真宗門徒としてのおつきあいは、自然で無理がありません。別院とはそういう場所だと思います。そこで出会った方々は、私にとって「たからもの」です。

何年も前から、自坊の報恩講の参拝者を何とか増やせないかと苦慮しています。「先ず隗より始めよ」とではないですが、人を報恩講に誘うには、まず住職が別院報恩講に参拝することから始めることにしました。駐車場係は長く勤めました。やはり出仕しなければと、毎年膝の痛みと闘っています。

(第十八組等運寺 塚本智光氏)

○次回の「三條別院に想う」は、

朝倉 孝英氏

(第二十組 金寶寺住職)

よりご執筆いただきます

■三條別院立華見学会のご案内

来る二〇一五年の御遠忌法要をお迎えするにあたり、今後の別院の立華を荷う組織作りが課題となっております。

現在、当別院報恩講の立華を、教区内御寺院の有志の方にお願ひしております。

本年は、その立華の現場の見学会の開催を計画しております。見学の他、簡単な作業のお手伝いもお願いする場合同もあります。立華に関心のある方は、経験者・未経験者を問わず参加可能ですので、ぜひお申込みください。詳しくは、同封の案内チラシをご覧ください。



■秋彼岸会・教如上人四〇〇回忌法要厳修

去る九月二十四日、二十六日まで、別院秋彼岸会が厳修されました。

二十三日には、N I G A T A フォークジャンボリー at 三条別院が開催され、七組の出演者と共に、秋彼岸の告知を行いました。



青く照らされた別院を背に、百名を超える参詣者が帰路につきましました。また、東日本大震災復興支援チャリティ募金として、五、五一九円の義援金が集まりました。

昼過ぎに始まったフォークジャンボリーは、四時間行われ、残暑の中、実行委員も汗を流しながら、夕暮れまで、懐かしのフォークソングを奏でました。ファイナルの王道フォークメドレーに併せて、三条商工会議所の主催する「本寺小路あかり物語」の一環としての本堂ライトアップが行われ、



あかり物語では、本堂のライトアップ他、様々な催しが9日間に亘って行われた。

晨朝には、恒例の「朝の人生講座」が期間中開催され、二十四日には福田 学氏（第十五組 善性寺）、二十五日には関 了悟氏（第二十組 楽運寺）、二十六日には藤田淳宏氏に「法話をいただきました。また、二十四日速夜法要には井上知法氏（第十三組願性寺）、二十五日日中法要には北原 致氏（第十一組 西照寺）にお話をいただきました。



右は人生講座講師。上より福田氏、関氏、藤田氏。左は彼岸会講師。上より井上氏、北原氏。

本年は教如上人の四百回忌にあたるため、期間中に一昼夜法要を厳修し、上場顯雄氏（教学研究所属託研究員、大阪教区圓徳寺）に、「教如上人と信長・秀吉・家康 東西分派」という講題で



ご法話をいただきました。最終日にはDVD『教如上人物語—東本願寺創立の上人—』が上映され、宗門人としてのみならず、歴史上の教如上人の業績を尋ねました。



願寺創立者である教如上人の遺徳を偲ぶ、盛大な法要となりました。

速夜・日中法要共に、内陣に教区内の多くの僧侶にご参働いただき、また、外陣には三条声明会にご加勢いただきました。戦乱の世に生き念仏の教えを文字通り命がけで守り抜いた東本



25日の速夜法要は26名の内陣出仕があり、後座に溢れた。



この度の秋彼岸会は、御参勤くださった教区内僧侶をはじめとして、別院教化審議会のスタッフ・別院有志の会など、多くの方にご協力いただきました。

また、本寺小路あかり物語のように、商工会議所を通して街の人々との繋がりもありました。あかりコンサート（オペラ）など、長く続いている行事も増えてきています。三条別院が、現在多くの方々に支えら



期間中、十五組の有志の方々（坊守・推進員・若手僧侶）が、旧御堂にて東日本大震災復興チャリティバザーとして、被災地の雑貨・物産展を中心とした販売を行いました。また、同じく旧御堂にて、教如上人パネル展が開催されました。



れていることを実感すると共に、これまで別院の歴史を支えてきた人々に想いを馳せ、これからの別院に関わっていただく人々を生み出していく可能性を感じさせる、そんな秋彼岸会でした。



報恩講儀式作法講習会のご案内

教区内の多くの僧侶に報恩講に出仕いただくことを願い、二回の講習会を開催しております。本年は三条別院に加え、新潟北地区が会場となります。

◇期 日：①新潟北地区(第二十三組善照寺) 十月 八日(火)

◇時 間：②三条別院 十月十六日(水) ③二条別院 午後二時～四時

◇講習内容：内陣における出退作法(講義・実技)、和讃本の扱い等

◇装 束：裳附・五条袈裟・差貫(切袴)

(報恩講当日に着用のもの)
詳細・申込みは既送のご案内をご参照ください。

女性僧侶の習礼がはじまりました

お取り越し報恩講に向けて、音楽法要の習礼がはじまりました。本年も助音を教区内女性僧侶に依頼しております。講師の多田 誓氏(第十組専徳寺)の指導の下、登高座伽陀・下高座伽陀・正信偈同朋奉讃を中心に稽古しております。習礼ははじまったばかりですので、関心のある方はご連絡ください。



秋の別院奉仕研修会のご案内

本年の報恩講を迎えるに当たり、当別院では

「秋の奉仕研修会」を開催いたします。是非ご参加ください。詳しくは既送のご案内をご参照ください。

◇開催日 十月二十五日(金)

◇時間 午前九時三十分受付 十時より

◇内容 ①仏具のおみがき②野外清掃(庭・境内の枯葉拾い・草取り等の作業) ③屋内清掃(本堂・旧御堂・書院・会館の掃除等)

◇締切 十月二十一日(月)

◇参加費 無料(昼食は別院が用意いたします)

別院声明教室のご案内

左記の通り、声明教室受講生を継続して募集いたしますので、ご希望の方は是非ご連絡ください。

◇開催日 十月二十二日(木)、十一月十九日(火)、十二月十八日(水)

◇時 間 午後六時より午後八時まで

◇会 場 教区同朋会館(三条別院内)

◇講習内容 正信偈 草四句目下

念仏讃 洵三

和讃 弥陀成仏のこのかたは

次第六首

回向 願以此功德

◇講師 島津 崇之氏(第十八組 満行寺)

◇持ち物 『真宗大谷派勤行集』または『大谷聲明集上』、念珠、筆記具

◇参加費 五〇〇円/回

真宗本廟御正忌団体参拝について

三条別院では、本年も本山、東本願寺御正忌

報恩講の団体参拝を行います。

◇期日 十一月二十七日(水)～二十九日(金)

◇参加費 五〇、〇〇〇円

詳細は案内チラシをご確認ください。

御命日(二十八日)の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

なお、前日(二十七日)はお逮夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

【十月二十八日(月)】

午前十時 お勤め(御命日 日中法要)

文類偈 行四句目下

念仏讃 洵五

和讃 回口 次第六首

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

長尾 豊隆氏(第十組 淨覺寺)

◇今後の講師一覧

十一月 關根 大丘氏(第二十組 松韻寺)

十二月 光井 栄史氏(第十六組 願善寺)

定例法話会のご案内

毎月十三日には、「両度の命日」と呼ばれている前門首の命日です。また、蓮如上人も御文中で、「この「両度の命日」についてお書きになら

れています。(四帖目十二通) 二条別院の一番古い建造物である旧御堂で仏法に触れるひと時を味わいませんか。皆様、お気軽にお越しください。

◇日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く

午後一時三十分より(一時間程度)

◇場所 三条別院 旧御堂

◇講師 九月〜十二月

山代 英世氏(第二十一組 浄泉寺)

別院書道教室のご案内

昨年の十月より、当別院を会場に書道教室を開催しております。受講生を追加募集いたしましたので、ご希望の方は是非ご連絡ください。

◇開催日 毎月二回(第二、第四水曜日)

◇時間 午後六時三十分〜八時

◇講師 木原 光威氏(新潟県書道協合理事)

◇持ち物 筆(大・小)、硯、下敷、文

鎮、墨液、半紙、新聞紙

◇月謝 二五〇〇円(テキスト代含む)

別院奉仕研修について

先達の篤き御懇念によつて護持されてきた三条別院にお越しいただき、その歴史に触れていただくとともに、現代の様々な問題を抱える私たちが、真宗門徒として親鸞聖人のみ教えに出遇う、そのような奉仕研修会を開いてみませんか。

ともに語り合い、人間として生きる意味を尋ねていく場となればと考えております。

○日程及び内容について、ご要望等ございましたらご相談承ります。

○奉仕研修会を参加いただく方(団体)の、冥加金は左記のとおりです。

◎冥加金

・日帰り 一、五〇〇円

・一泊二日 二、五〇〇円

◎食事代(昼・夕食は業者発注のため)

・朝食代 五〇〇円

・昼食代 一、〇〇〇円程度

・夕食代 一、三〇〇円程度

同朋会館に宿泊される方へお願い

同朋会館に宿泊される方は、宿泊当日に同朋会館一階の事務所にございます宿泊者帳に記載してください。その後、シートクリーニング代五〇〇円とシーツを交換させていただきます。

なお、宿泊される方は、翌朝七時より本堂にて晨朝が勤まりますので、お参りいただきますようお願い致します。

三条別院巡回について

かつて三条別院の御影をお迎えし、各ご門徒のお宅で聞法会が頻繁に行われておりました。しかし、時代の流れや、世代の交代で今では数えるほどこしか行われていません。ご門徒の皆様をはじめ有縁の方にご案内いただき、三条別院巡回がより多くの方々のお念仏をいただくご縁となりますことを、願っております。

※巡回の曜日・時間等はできるかぎりご都合に

合わせますので、お気軽にご相談させていただきます。

三条別院有志の会について

三条別院では「三条別院有志の会」という集いを持ち、法話や座談会(茶話会)など、近隣の方をはじめ、有縁の方にお集りいただいております。現在十余名の有志の皆様によつて活動しておりますが、三条別院有志の会では、より多くの方にご参加賜りたく、新たな参加者を募っております。お気軽にどなた様でもご来院ください。お問合わせは三条別院まで。

◇◇編集後記◇◇

「もう、お取り越しまであと一ヶ月ですね」
教如上人四百回忌法要後にある御住職がおっしゃいました。

この度の御法要は、お逮夜に例年のおとりこし法要を凌ぐ二十七名の方の御出仕、および百名を超える方々の御参詣をいただき予想を超える盛況ぶりでした。

教如上人の御法要をおとりこしの法要の前座扱いするわけではありませんが、今年度のお取り越しへの期待が高まる思いがします。

今年度のお取り越し法要後に一年間の工事期間に入ります。暫く本堂での法要ができなくなる事も含め、ぜひその前に多くの方々の御出仕・御参詣を願ひ期待するばかりです。

(松浦・寿)